

# セカンドショット ジャンボMX

効果的に使用するための

テクニク



ポイント1

## 基本のき

### 適用雑草と使用方法

2022年6月1日現在

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツパイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ キシュウスズメノヒエ	移植後14日～ノビエ3.5葉期 ただし、収穫45日前まで	小包装 (パック) 20個 (500g) /10a	1回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入 れる。
直播水稲	一年生雑草 及び マツパイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲4葉期～ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで			

登録内容は必ず守る!

使用量は10a当り20個です。

雑草の生育を確認して適期に散布

(裏面の「各種雑草の散布適期(移植水稲の場合)」を参考にしてください)

有効成分:  
 アジムスルフロン...0.36%  
 ペノキスラム...0.36%  
 メソトリオン...2.0%

アジムスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペノキスラムを含む農薬の総使用回数	メソトリオンを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	2回以内

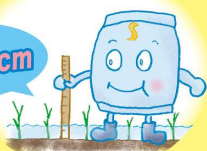
ポイント2

## 散布時の水田条件を整える

適度な水深を確保!

ジャンボ剤は水深が浅いと拡散不良による薬害が生じるおそれがあります。

5~6cm



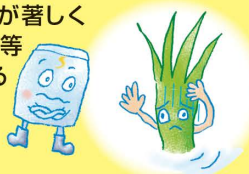
畦畔からの水漏れチェック! しっかり止水してください。

田面水の流出は有効成分の流出につながり、効果不足の原因となります。また、減水深2cm/日以上の水田では効果不足と薬害のおそれがあります。



稲の調子が悪い時の散布は避ける!

稲も生き物です。天候等で生育が著しく悪い場合や、気温の急激な変化等により稲に高いストレスがかかる時期の散布は避けてください。



藻や浮草が多発している水田では使用しない!

ジャンボ剤は水面に浮かせて拡散させるタイプの除草剤です。水面に障害物があると、拡散不良の原因となります。



ポイント3

## 散布方法

小包装(パック)に濡れた手で触れない!

パックのフィルムは水溶性です。



30a程度までの水田は畦畔から均等に下手投げで散布!

⇒それ以上の面積の水田では、適宜水田内に入って、下手投げで均等に散布してください。



ポイント4

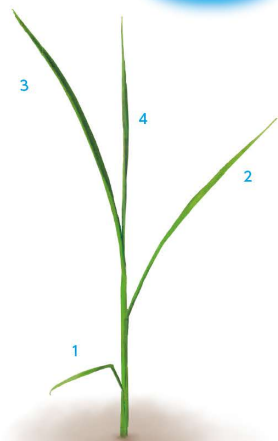
## 散布後の水田環境を整える

散布後7日間は止水し、最低3日間は田面露出させない!

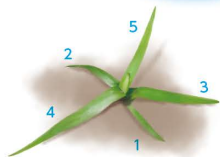
自然減水によって田面が露出しそうな場合は、静かに入水してください。



ノビエ 3.5葉期まで



コナギ 5葉期まで



アゼナ



クサネム



ホタルイ



ウリカワ



※登録は草丈10cmまでですが、安定した効果のため5cmまでの使用をおすすめします。



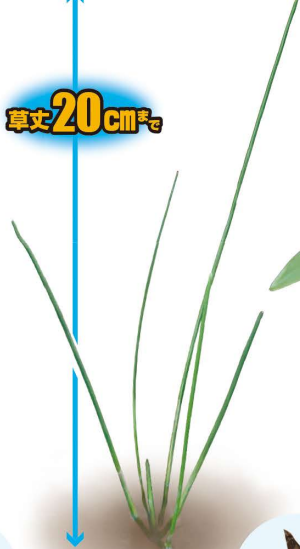
ミズガヤツリ



コウキヤガラ



クログワイ



オモダカ



キシウスズメノヒエ



イボクサ



その他一年生広葉 本葉2対程度まで

ヘラオモダカ 3葉期まで

ヒルムシロ 発生盛期まで

セリ 再生期まで

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記帳しましょう。

\*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。  
\*本印刷物は2022年6月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。